

発刊に寄せて

農林水産省生産局

知的財産課長 深井 宏

財団法人日本特産農作物種苗協会が情報誌「特産種苗」を発刊されることについて、心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、原種苗の生産配布等、優良種苗の安定的な供給と関連する調査等の事業により、豆類・ばれいしょをはじめとした特産農産物の生産振興に貢献されていることに深く敬意を表します。

近年、社会経済のグローバル化が急速に進展する中で、地球規模の気候変動、開発途上国の経済発展やバイオ燃料生産の拡大等に伴い、世界的な穀物の需給ひっ迫と価格の高騰が生じています。

これら問題は、国民に対する食料の安定供給という面から大きな不安材料となっているところですが、食料生産の要である「優良な種苗の確保とその供給」は、これら問題に取り組む上で、その重要性をさらに増していると考えています。

種苗生産を取り巻く状況をみますと、原油価格や肥料原料の高騰等に伴う生産コスト上昇への対応が大きな課題となっており、農林水産省としても対応が求められているところです。さらに知的財産の面からは、新品種の育成・活用による国際競争力の強化や育成者権の保護等が求められてお

り、日本政府は各国の協力のもとに昨年7月に、東アジア地域における植物品種保護制度の整備や国際的な調和の推進を目的とした「東アジア植物品種保護フォーラム」を設置したところです。

日本農業がグローバル化への対応を求められる一方で、本誌が対象とする特産農作物は、地域の風土・栽培条件に合致した作物を生産することにより、地域特産物として地域振興、地産地消、小規模耕地の利用等につながっており、その役割はさらに重要なものとなっています。また、特産農作物は、このようなメリットを持つ反面、栽培技術の確立、生産者の高齢化と担い手不足などによる生産基盤の脆弱性、さらには輸入農産物との競合、流通経路の確保などに課題を生じています。

このような状況に対し、本誌は、特産農産物とその種苗に関する様々な情報について、行政機関、試験・研究機関、種苗業者の方々に提供することとしており、産地における課題の解消、さらには政策立案資料として生産振興に寄与することが期待されます。貴協会が、本誌の発刊を機に益々発展されることを祈念いたしまして、寄せる言葉といたします。